

處置 多くは自然に治るが 長引く時は醫治を求む。

第七項 淋菌性陰門腫炎

原因 淋菌の傳染による。

症状 外陰部及び陰壁が赤く腫れ 膿様分泌強く、不安となり、時に熱發することあり。

處置 早く醫治を乞ひ、其間に於ては 局所を清潔にし 消毒を嚴にして他への傳染を豫防する。

第六章 乳兒鉛中毒症

乳兒鉛中毒症に就て知る所を記せ。乳兒鉛中毒症とは如何。

乳兒鉛中毒症の原因及症狀を擧げよ。

乳兒鉛中毒症の診斷及處置を問ふ。

本症は鉛の中毒による一種の腦膜炎様症狀、例へば始め吐乳し、驚き易くて、安眠せず、不機嫌であり、次で不消化便(綠色顆粒便)、腦症狀、殊に眼球上瞼(眼球が上方に固定すること)、痙攣等を起し、遂に死亡するか又は白痴になる、以前乳兒腦膜炎と誤り云はれた疾病である。

原因 稀れに天華粉、玩具殊に「クレヨン」によるも、多くは母體の使用する含鉛白粉による、従つて夏に多く天然營養兒に多し、故に

處置 母體の使用する白粉中に鉛が含まるるや否や(これは白粉試験紙による)を検し、疑ひだにあらば直ちに醫師の診療を乞ひ、他方白粉の使用を禁じ、入浴、清潔にし、授乳は既に離乳期の乳兒にて重症ならば直ちに斷乳すべきも、而らざれば混合營養により、其他は醫師の指導に従ふ。

昭和二年二月十日 第一版印刷
 昭和三年五月十五日 第二版發行
 昭和四年十月二十日 第三版發行
 昭和六年一月五日 第四版發行

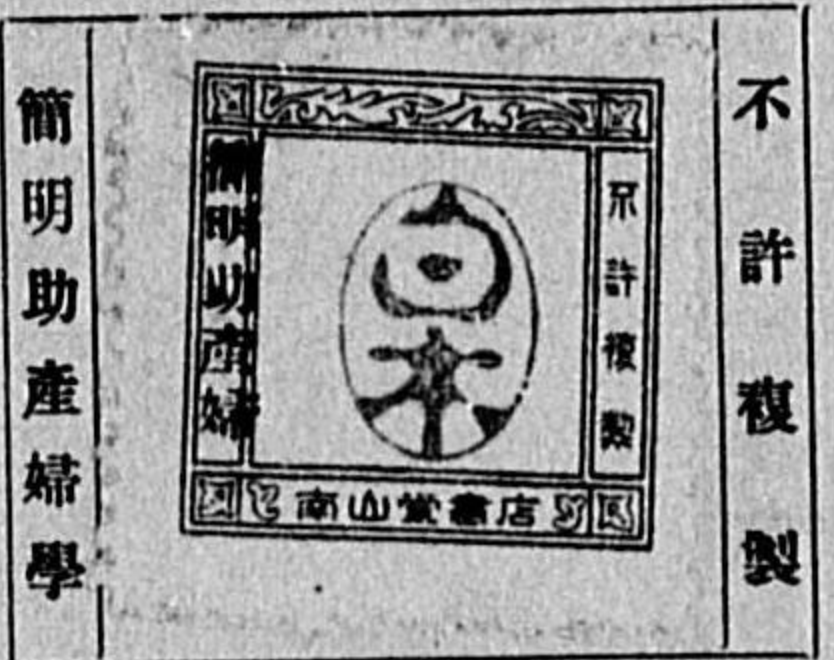
昭和七年五月十日 第五版發行
 昭和八年六月十五日 第六版發行
 昭和九年十一月五日 第七版印刷
 昭和九年十一月十日 第七版發行

著者 白木正博

發行者 鈴木幹太

印刷者 古橋照太郎

印刷所 株式會社 東京築地活版製造所

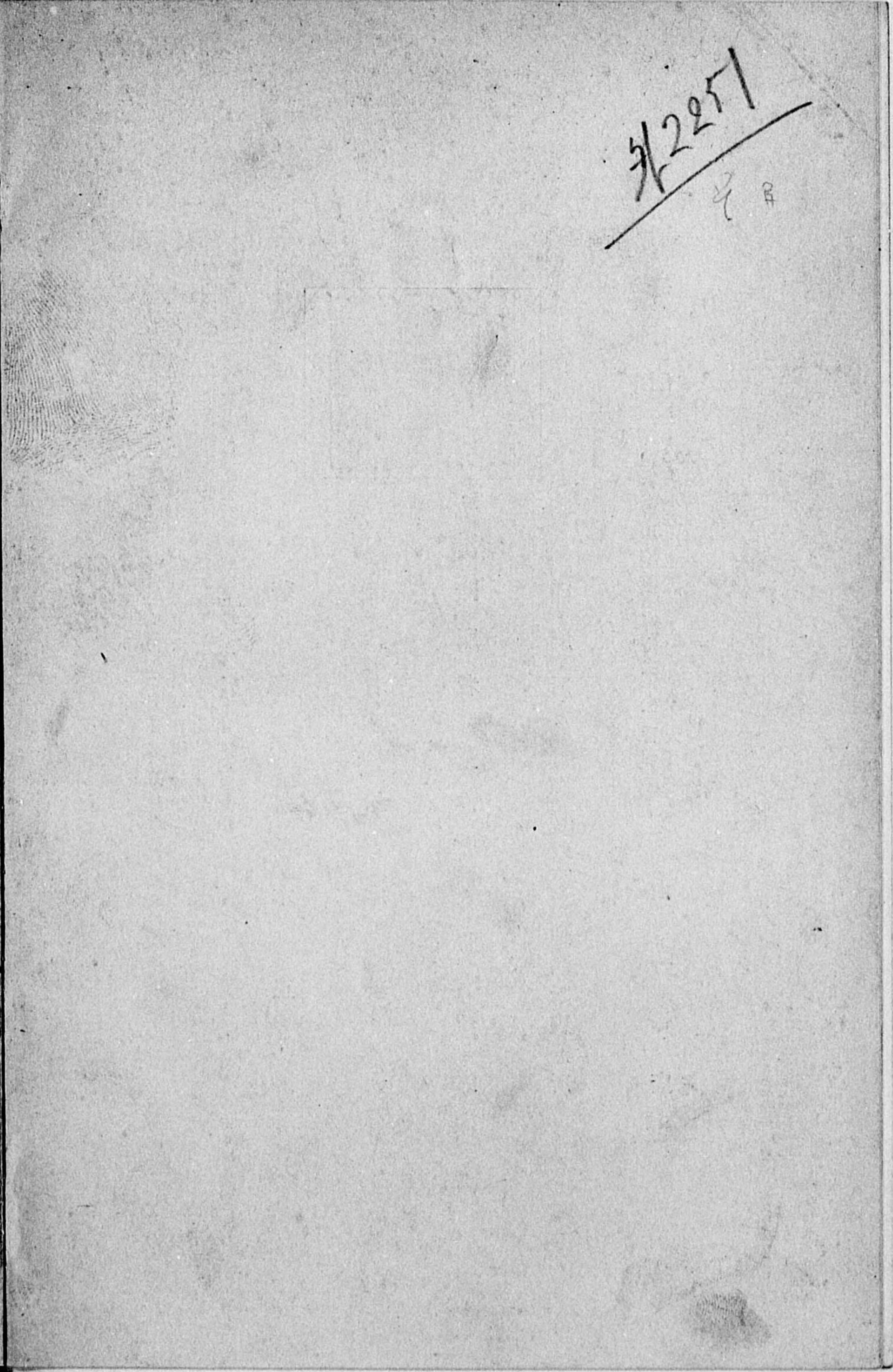
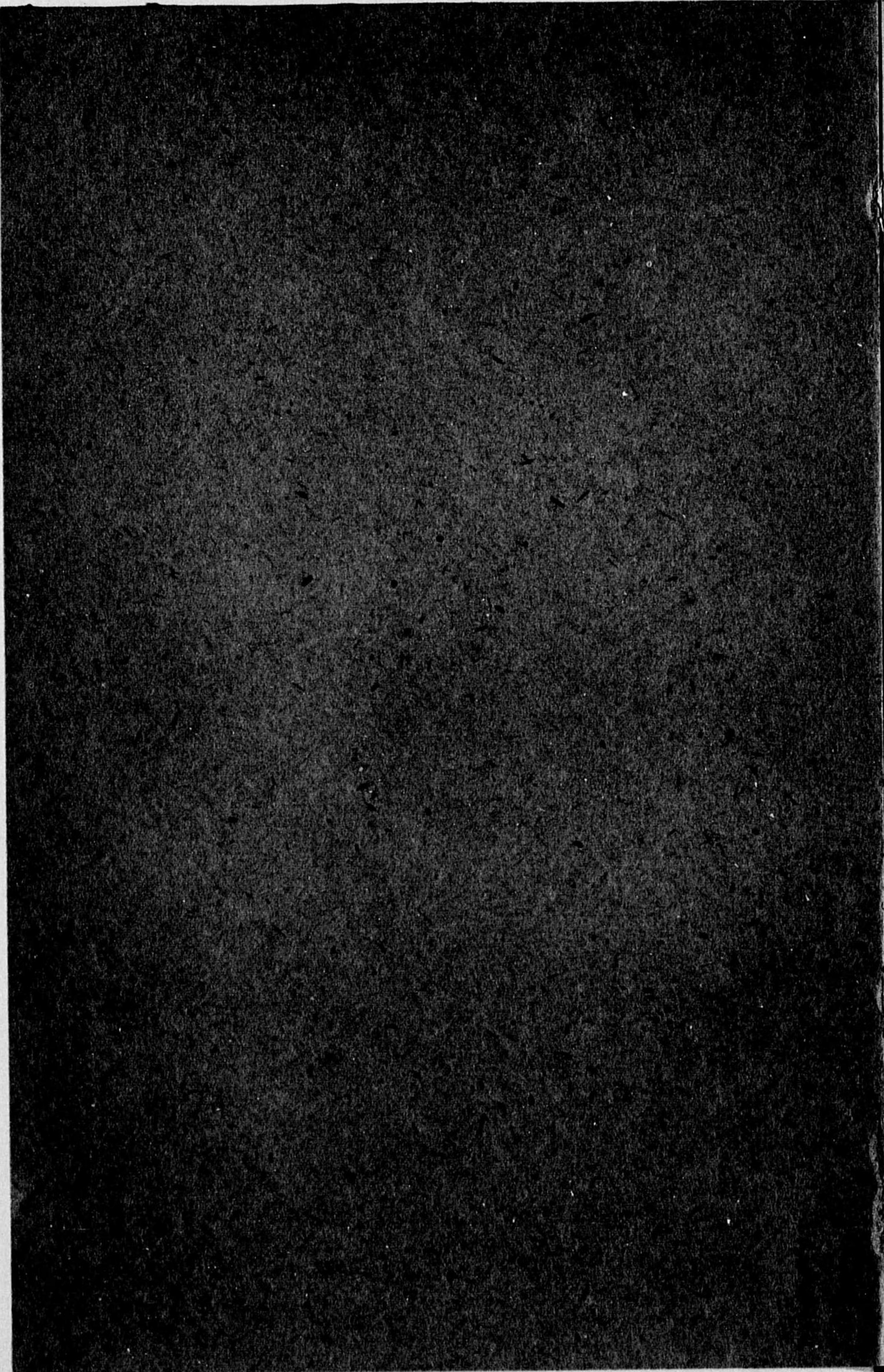


正價金九圓拾錢

發行所

東京市本郷區龍岡町三十一番地
電話小石川四三三〇 振替東京六三六

南山堂書店



465.9

SH83

終